

核力・ハドロン間相互作用と量子多体計算の進展

Feb 16 – 18, 2026

京都大学

Asia/Tokyo timezone

参加者 約55名

テーマ

- 核力やストレンジネス・チャームハドロンに働く相互作用
- 核力に基づいた原子核の第一原理計算
- 非中心力や三体力
- 核力から導出した有効相互作用
- その他、原子核・ハドロンおよび冷却原子など、関連する量子系の研究

核力・ハドロン間相互作用と量子多体計算の進展

Feb 16 – 18, 2026

京都大学

Asia/Tokyo timezone

今回の趣旨(申請書の一部)

京都は歴史的に核力研究の中心地であり、現在も格子QCD計算によるハドロン間相互作用研究で世界をリードしている。その強みを活かし、京都大学基礎物理学研究所では、およそ3年に1度の頻度で第一原理的原子核・ハドロン物理の研究会が開催されてきた。それらの研究会は、現段階の核力研究および第一原理計算の達成状況について定期的に議論し、今後の展望を共有するための重要な役割を果たしてきた。

本申請ではこれまでの同様の研究会の方針を踏襲しつつ、ストレンジネスやチャーム等を含むハドロン間相互作用を新たな研究テーマの一つとして扱う。

核力・ハドロン間相互作用と量子多体計算の進展

Feb 16 – 18, 2026

京都大学

Asia/Tokyo timezone

湯川秀樹 → ... → 藤原義和 → ...

今回の趣旨(申請書の一部)

京都は歴史的に核力研究の中心地であり、現在も格子QCD計算によるハドロン間相互作用研究で世界をリードしている。その強みを活かし、京都大学基礎物理学研究所では、およそ3年に1度の頻度で第一原理的原子核・ハドロン物理の研究会が開催されてきた。それらの研究会は、現段階の核力研究および第一原理計算の達成状況について定期的に議論し、今後の展望を共有するための重要な役割を果たしてきた。

本申請ではこれまでの同様の研究会の方針を踏襲しつつ、ストレンジネスやチャーム等を含むハドロン間相互作用を新たな研究テーマの一つとして扱う。

核力・ハドロン間相互作用と量子多体計算の進展

Feb 16 – 18, 2026

京都大学

Asia/Tokyo timezone

湯川秀樹 → ... → 藤原義和 → ...

今回の趣旨(申請書の一部)

前回は2021年...

京都は歴史的に核力研究の中心地であり、現在も格子QCD計算によるハドロン間相互作用研究で世界をリードしている。その強みを活かし、京都大学基礎物理学研究所では、およそ3年に1度の頻度で第一原理的原子核・ハドロン物理の研究会が開催されてきた。それらの研究会は、現段階の核力研究および第一原理計算の達成状況について定期的に議論し、今後の展望を共有するための重要な役割を果たしてきた。

本申請ではこれまでの同様の研究会の方針を踏襲しつつ、ストレンジネスやチャーム等を含むハドロン間相互作用を新たな研究テーマの一つとして扱う。

核力・ハドロン間相互作用と量子多体計算の進展

Feb 16 – 18, 2026

京都大学

Asia/Tokyo timezone

発表者へお願い

発表スライドをindicoで公開したい:
公開OKの場合はメールで送ってください:
tokuro.fukui@artsci.kyushu-u.ac.jp

世話人

阿部 喬 (慶応大)
板垣 直之 (大阪公立大)
福井 徳朗 (九州大)
堀内 渉 (大阪公立大)
山口 康宏 (名古屋大)

+

基研事務室 **坂口 律子さん**

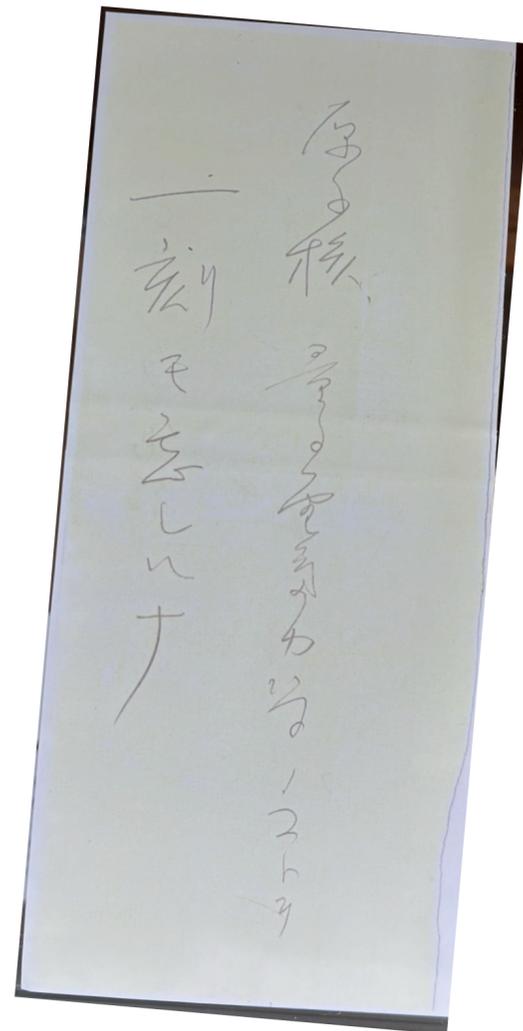
今後も継続したいので
改善点などフィードバックを
お願いします

核力・ハドロン間相互作用と量子多体計算の進展

Feb 16 – 18, 2026

京都大学

Asia/Tokyo timezone



ありがとうございました